

内科医 つれづれ草

高山浩一

⑮

セカンドオピニオン外来を
存じでしょうか？
セカンドオピニオンとは文字
通り二つ目の意見のことで、
が
ん医療で有名になりました。現
在受けている医療に対して、専
門家として意見を述べることに
その趣旨です。
私が勤める大学病院にもセカ
ンドオピニオン外来があり、私
の場合は肺がんの患者さんがし
ばしば意見を求めて来られま

セカンドオピニオン

す。患者さんが知りたいことは
事前の申込書で把握はしていま
すが、実際にお会いして、これ
までの診断、治療の経過、現在
の心配事など、患者さん自身も
しくはご家族から改めてお聞き
します。患者さんの不安は、治
療方針への疑問というよりは、
これまで受けた治療を含めて診
療全般への説明不足によること
が多いように思います。そこで、
学会の診療ガイドラインをお示
ししながら、個々の質問にお答
えすることで、納得いただける
よう努めています。
一方で、セカンドオピニオン
外来について、少しばかり誤解

説明不足 不安の一因

があるようにも思います。お話
を聞くと、今かかっている病院
から当院へ転院したいと言われ
ることも少なくありません。



イラスト・山本重也

最近の私の経験では、主治医
の意見、すなわちファーストオ
ピニオンと大きく食い違うこと
は少なく、転院しても治療方針
に変更はないと説明するのです
が、それでもご希望される場合
は当院で受け入れています。転
院をご希望の場合はセカンドオ
ピニオン外来の目的と異なりま
すので、通常通り外来を受診い
ただく方がよいかと思えます。
主治医からの診療情報提供書
を持たずに受診される方がまれ
におられます。どうして？とお
尋ねすると、主治医の先生に申
し訳なくて言いたせなかつた
と。奥ゆかしい日本人らしい理
由と言えはそれまでですが、が
ん治療のような命が懸かってい
る状況で、そのような気遣いは

全く無用です。
私自身も患者さんの治療方針
に迷うことはあります。特に経
験の少ないまれな病気の場合
は、むしろこちらから患者さん
へセカンドオピニオンをすすめ
ることもあります。われわれが
知らない新たな情報をいただけ
るならありがたいし、何より患
者さんには納得して治療を受け
ていただきたいからです。
一方で、多くの医師に意見を
求めることはお薦めしません。
時間も費用もかかり、かえって
迷うことになりかねません。進
行の早い病気もありますから、
信頼できる医師の説明で納得で
きたら、速やかに決断して治療
を受けることが大事です。
(京都府立医科大学教授)